



会 報

67

静岡エネルギー・環境懇談会

2022年 新年ご挨拶

静岡エネルギー・環境懇談会 会長 奥野 健二



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆さまには、明るい年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の第3波から始まり、静岡県においても緊急事態宣言が発令され、新たな生活様式の徹底、在宅勤務やリモート会議など働き方の変化に加え社会・経済活動の停滞といった世界が我慢の年であったように思います。そのような中でワクチン接種が始まり、接種率の増加に伴い、第5波が沈静化し始めた10月以降は、経済活動も徐々に動き出したと感じる年でもありました。

当会の活動においても少なからず影響を受け、エネルギー関連施設見学会、出張授業などがキャンセルされ、10月以降ようやく活動が少しずつ動き出しましたが、まだまだ感染状況を注視する必要があります。

世界的な脱炭素への流れの中、日本ではエネルギー政策の基本的な方向性を示す第6次エネルギー基本計画が昨年10月に閣議決定され、2050年カーボンニュートラルという目標に向け、野心的な見通しが掲げられました。再生可能エネルギーを主力電源化、新たな資源として水素・アンモニアが位置づけられました。

原子力については、安全性の確保を大前提に、20%～22%という電源比率が維持されています。この比率達成には既設発電所の多くが稼働していくことが必要です。2030年より先を見据えた場合は、供給安定性に優れ運転時に二酸化炭素を排出しない原子力発電所の新增設、リプレースについても今後、議論が進むことと思います。

また、世界に目を向けると、英国グラスゴーにて国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が昨年11月に開催され、産業革命前からの気温上昇幅を1.5℃に抑えることが世界共通の目標に位置づけられました。この目標を目指すためには2050年までに世界の二酸化炭素排出量を実質ゼロ(ネットゼロ、あるいはカーボンニュートラルとほぼ同義)にし、2030年までに2010年比で約45%削減することが必要とされています。石炭火力発電についても段階的な削減が明記されました。

当会としましては、このような状況の中、エネルギー関連施設見学会の開催、放射線に関する出張授業・セミナー、各種情報提供などの活動を継続的に実施しております。

脱炭素の流れやエネルギー基本計画の改定を踏まえ、今まで以上に、原子力発電を含めたエネルギーのベストミックスや地球温暖化問題について伝える活動が重要と考えております。コロナ禍で活動が制約される中ではありますが、「face to face」での活動を基本として展開してまいります。引き続き、会員の皆さまのご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

結びとなりますが、皆さまの今後益々のご活躍とご健勝ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

～事業活動の実施状況～

今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動に大きな影響を受けました。

現時点において第5波が沈静化してはいるものの、収束が見通せない中ですが、「感染防止対策の徹底」を図りながら実施している活動について紹介いたします。

1 会員見学会

2021年12月3日(金)～4日(土)に14名の皆さまに参加いただき開催しました。

見学先は、国のエネルギー政策「第6次エネルギー基本計画」で、脱炭素に向け主力電源化に掲げられた再生可能エネルギーの内、設備利用率が高く安定的に供給できる地熱発電、小水力発電の2施設を見学しました。

(1) 中尾地熱発電株式会社「奥飛騨温泉郷 中尾地熱発電所」(2021年12月3日)

日本は、アメリカ、インドネシアに次いで3番目(2,347万kW相当)の地熱資源大国です。現在、国内利用率は2.2%(40か所、52万kW)と十分に利用されていない現状です(2016年6月現在)。

中尾地熱発電所は、2本の生産井の地下から噴出する「高圧蒸気」と同時噴射する熱水を減圧沸騰させた「低圧蒸気」の2種類を蒸気タービンに導いて発電するダブル・フラッシュ方式を中部地方では初めて採用し、一般的なシングル・フラッシュ方式に比べ約20%効率を向上させた最大出力1,998kWの発電所です。噴出された熱水は全て地元中尾温泉へ無償配湯することで温泉事業と地熱発電事業が共存・共栄していく取り組みが行われています。

当日は、タービン・発電機、冷却塔、PR館が建設中で、長期安定した蒸気を噴く第二生産井(地下1,500m掘削した井戸)を間近で見学し、井戸掘削時の苦労や地元との信頼関係の構築などについて説明いただきました。運転開始は、2022年下期を予定しているとのこと。

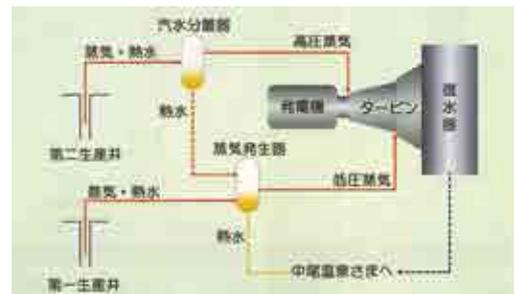
(2) 株式会社シーエス・アクア「ひだ巢之内水力発電所」(2021年12月4日)

飛騨市の菅沼谷を流れる豊かな資源を利用した最大出力1,482.5kWの流れ込み式(水路式)の水力発電所です。

水は、他社の水力発電所で使用した水を一旦貯水槽に貯め、水圧鉄管で下流の発電所まで導き、有効落差約146mで発電する資源を最大限活用した小水力の発電所です。

また、発電所は国道およびJR高山本線の車窓からも見えるため、発電所壁面に飛騨市と発電所PRの看板を設置したとのことでした。

2日間に渡りご案内頂きました両施設の建設・運営に携わる株式会社シーエナジー 西村様、松崎様、井上様には改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



(ダブル・フラッシュ発電の仕組み)



(第二生産井前で説明を受ける会員)



(壁面にPRの絵を描いた発電所)



(水車と発電機の説明を受ける会員)

2 放射線セミナー

今年度においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、従来の集合型イベント（カルチャー教室+講師による講演）の実施が難しい状況が続いています。昨年度初めての試みとして実施したラジオ放送では、幅広い年齢層の方々に聴いていただき、「放射線」を正しく理解いただく情報発信が出来たと評価しています。

今年度も、朝のSBSラジオ（静岡放送）「牧野克彦のIPPO（いっぽ）」のコーナーにて、10月27日から毎週水曜日の3回シリーズで岡田往子さん（東京都市大学理工学部原子力研究所客員准教授）とSBS牧野アナウンサーとのリモートによる掛け合いで実施しました。

内容は、「暮らしの中の放射線」について、放射線は身近にあること、自然放射線を年間約2.1ミリシーベルト受けていること、放射線の健康への影響、放射線が医療・工業の分野で利用されていることなどについて解りやすくお話いただきました。



（岡田往子さん）



（SBS牧野アナウンサー）

（リモートによる収録の様子）



（座談会の様子）

（卓上霧箱観察の様子）

収録後、岡田さんと放送を聴いた「アステン」サポーター2名、「womo」モニター2名との座談会をフリーアナウンサー長谷川玲子さんの進行で実施しました。

参加者からは、放射線と聞いて、漠然と危険なものとのイメージがあったが、「身近にあることを初めて知った」「岡田先生とお話して正しい知識を持って判断することが重要ということが分かった」といった感想がありました。

参加者の皆さんには、卓上霧箱により空気中のラドンから出た放射線が通った跡も見ていただきました。

今回のラジオ放送、座談会の内容については、新聞、情報紙、Webを活用して広く静岡県の皆さんへ情報発信をさせていただきました。



【12月2日 静岡新聞夕刊掲載記事】



【12月4日「アステン」掲載記事】

3 出張授業・出前教室

放射線に関する出張授業・出前教室では、放射線の基礎について学んだあと、簡易霧箱を使った放射線の飛跡観察や簡易測定器を使用した放射線の特性実験(距離による違い、しゃへいによる違いを学ぶ)を行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発令もあり、申込みいただいた学校もやむなく中止される場合もありました。12月末現在の実施状況は、以下のとおりです。

(1) 出張授業

大学・専門学校(3校) 高等学校(4校) 中学校(1校) 小学校(1校)

(2) 出前教室

会員企業(1件、延べ4回) 県内団体(1件、延べ1回)

4 見学会

エネルギー関連施設への見学会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施設側の受入中止、人数制限等により実施が困難な状況が続いていました。新型コロナウイルスの感染が落ち着き始めた10月以降、関係各所のご協力により、見学会を再開しています。12月末現在の実施状況は、以下のとおりです。

浜岡原子力発電所見学 高等学校 (3校 延べ6日)

駿遠変電所見学 高等学校 (2校 延べ2日)

今後の主な行事予定(1~3月)

◆(1) 出張授業

静岡県内の高等学校(2校)・中学校(9校)

◆(2) 出前教室

静岡県内の企業(1企業)、静岡県内の地区団体(1団体)

◆(3) 見学会

静岡県内の高等学校(2校)

◆(4) 「サイエンスピクニック2022」に「放射線の飛跡観察」を出展します。

開催日：2022年3月5日(土) 13:00~16:00

2022年3月6日(日) 10:30~16:00

場 所：静岡科学館 る・く・る 9FL 企画展示室

編 集 後 記

- ◆ 気持ちも新たに、エネルギー・環境に関する情報の解り易い発信にトラ(虎)イ!(S.K)
- ◆ 「お伝えしたいことが、皆さまに届くよう。」地道な活動を続けてまいります。(H.O)
- ◆ 皆さんに正しい情報をわかりやすく伝えます。(M.N)
- ◆ 一人でも多くの皆さまに「エネルギーのこと、放射線のこと」をお伝えしたい!継続は力なり!(M.T)

〒420-0032 静岡市葵区両替町2丁目4-15(静岡O.Nビル8階)

静岡エネルギー・環境懇談会

TEL(054)253-4140 FAX(054)253-4160

